

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

| 地域名  | 構成市町村等名             | 計画期間                            | 事業実施期間         |
|------|---------------------|---------------------------------|----------------|
| 尾三地域 | 日進市・みよし市・東郷町・尾三衛生組合 | 平成 25 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 | 平成 25 年度～令和元年度 |

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

| 指 標   | 現 状<br>(平成23年度) | 目 標<br>(令和2年度) A | 実 績<br>(令和2年度) B | 実績<br>/目標 |         |
|-------|-----------------|------------------|------------------|-----------|---------|
| 排出量   | 事業系 総排出量        | 12,176 t         | 13,186 t         | 13,788 t  | 159.0 % |
|       | 生活系 1人当たりの排出量   | 202 kg/人         | 167 kg/人         | 184 kg/人  | 51.4 %  |
| 再生利用量 | 直接資源化量          | 7,321 t          | 8,138 t          | 6,757 t   | -83.3 % |
|       | 総資源化量           | 14,438 t         | 18,249 t         | 13,750 t  | -9.6 %  |

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

| 指 標      | 現 状<br>(令和 年度)     | 目 標<br>(令和 年度) A | 実 績<br>(令和 年度) B | 実績<br>/目標 |
|----------|--------------------|------------------|------------------|-----------|
| 総人口      |                    |                  |                  | —         |
| 公共下水道    | 汚水衛生処理人口           |                  |                  | %         |
|          | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | %                | %                | %         |
| 集落排水施設等  | 汚水衛生処理人口           |                  |                  | %         |
|          | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | %                | %                | %         |
| 合併処理浄化槽等 | 汚水衛生処理人口           |                  |                  | %         |
|          | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | %                | %                | %         |
| 未処理人口    | 汚水衛生未処理人口          |                  |                  | %         |

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

### ○排出量

#### ・事業系総排出量

事業系ごみ総排出量において目標が達成できなかった要因としては、目標年度の想定事業所数より実績事業所数が増加したこと、また、大型商業施設が開業したことによるものと考えられる。

#### ・生活系1人当たりの排出量

生活系ごみ1人当たりの排出量において目標が達成できなかった要因としては、可燃ごみが増加していることから新型コロナウイルス感染症による外出自粛により、家庭生活から排出される厨芥類が増加したものと考えられる。

### ○再生利用量

#### ・直接資源化量

直接資源化量において目標が達成できなかった要因としては、資源回収ステーションの回収のうち、新聞、雑誌等の紙類の回収量が顕著に減少していることが考えられる。紙類の減少については、電子書籍化や民間のリサイクル回収拠点へ排出されていることが考えられる。

#### ・総資源化量

総資源化量において目標が達成できなかった要因としては、直接資源化量の減少の他に、集団回収量の減少が考えられる。集団回収量の減少については、実施団体の減少や新型コロナウイルス感染症による実施回数の減少によるものと考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和8年度まで

### ○排出量

・事業系ごみにおいては、廃棄物の排出抑制・資源化についてホームページ等で周知啓発を行い、紙類等については、資源の循環的な利用を推進し、排出量の削減に取り組む。また、搬入されたごみについては、展開検査等を行い、減量化・資源化に向けた指導を強化する。

・生活系ごみにおいては、広報やパンフレットを活用しリフューズ、リユースの推進に取り組み、ごみの減量、資源化の周知啓発を継続して行う。家庭ごみの中で大半を占めている生ごみについては、食べきり、水切りの推進、生ごみ処理機の購入補助を継続していく。また、食品の有効活用等の啓発、フードドライブの周知を行い食品ロスの削減を推進する。

### ○再生利用量

・リサイクルステーション等の利用と分別収集の更なる推進に取り組むため、外国語表記を推進するなど広報を充実させていく。また、団体回収による資源化事業の助成を継続し、情報発信を行い資源化活動を促進する。さらに、住民がリサイクルしやすい排出方法について調査研究を行い、導入を検討していく。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

事業系ごみ総排出量は目標未達成であった。これは、目標年度の想定事業所数より実績事業所数が増加したこと等によるものと考えられる。

生活系1人当たりの排出量は目標未達成であった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で家庭生活から排出される厨芥類が増加したこと等により、想定どおりに排出量が削減されなかったためであると考えられる。

再生利用量について、直接資源化量及び総資源化量ともに目標未達成であった。これは、民間のリサイクル回収拠点の普及に伴い住民の古紙等の排出先の選択肢が増えたことや、電子書籍の普及に伴い雑誌等の紙類の回収量が減少したこと等によるものと考えられる。

事業系ごみ及び生活系ごみの発生抑制、資源回収の向上に向けた方策等、目標の達成に向けた施策等を着実に推進し、さらなる循環型社会の形成推進に努められたい。